今できることプロジェクト
2026-2027
学び直しと伝承

仙台市 減災推進課×今できることプロジェクト

参加者募集！

都市型災害に備えるスキルを磨く防災・減災ワークショップ

（協力／仙台市危機管理局 防災・減災部 減災推進課）

仙台市危機管理局減災推進課の協力の下、災害リスクへの理解を深めながら、大規模な自然災害の発生時に推奨される在宅避難や帰宅困難者とならないための備えなどを学ぶ、実践型ワークショップを2回開催します。第1回目のテーマは豪雨災害編。参加者を募集します。



昨年度開催の防災・減災ワークショップの模様

豪雨災害編

実施予定のプログラム（内容は変更になる可能性がございます。）

①近年の豪雨災害の傾向と雨の降り方の変化

近年、日本各地で集中豪雨や線状降水帯による記録的な大雨が頻発し、甚大な被害が報告されています。これまでの豪雨災害の傾向と、気象データの統計から雨の降り方の変化について理解を深め、どのような対策や行動が必要か考えます。

②豪雨災害ハザードマップを活用して、自宅・職場・通勤経路のリスクを可視化

洪水浸水想定区域や土砂災害のおそれがある区域を示した洪水・土砂災害ハザードマップ、そして、都市部特有の内水氾濫のリスクを示すマップについて説明します。これらのマップを活用して、ご自宅や職場、通勤経路に潜むリスクを可視化し、災害に備えましょう。

③豪雨災害時の行動を時系列で整理する「マイ・タイムライン」の作成

「マイ・タイムライン」とは、豪雨災害が発生するおそれが高まった時に自分や家族が取るべき行動を、時系列で整理した計画書です。台風や大雨が予想される際、いつ、誰が、何をするのかを事前に決めておくことで、いざという時に冷静かつ的確な行動をとることができます。ワークショップ形式で、ご自身のオリジナルの「マイ・タイムライン」を作成します。

④せんだい災害VRによる豪雨災害の疑似体験

せんだい災害VRは、災害体験を通じて防災意識を高めるための、体験型学習プログラムです。VRゴーグルを装着して臨場感ある仮想現実の世界に入り込み、豪雨災害に対する備えや具体的な対応方法を学びます。

⑤避難に必要な情報や入手方法

豪雨災害発生時、命を守るためには正確な情報が必要です。テレビ、ラジオ、防災行政無線、インターネット、SNSなど、様々な情報収集手段があります。災害発生前から活用すべき情報源や、デマに惑わされないための情報のリテラシーについて解説し、災害時に取るべき行動をサポートします。

仙台市防災・減災アドバイザー　早坂 政人さん



平成15年5月の宮城県沖を震源とする地震を契機に、仙台市消防局は大地震に備え、市民への普及啓発を専門とする地震災害対策強化担当「（通称）仙台市地震防災アドバイザー」を設けました。その後、東日本大震災や関東・東北豪雨の経験から多くの教訓を得て、より幅広い災害への備えを伝えるため、平成30年4月より「仙台市防災・減災アドバイザー」を配置しています。

都市型災害に備えるスキルを磨く防災・減災ワークショップ

参加無料

豪雨災害編

開催日時　2026年12月17日（木）13:30～15:30（開場13:00）

募集人員　80名　　**会　場**　河北新報社1階ホール

お申し込み方法

応募フォームに必要事項を明記のうえ、お申し込みください。
https://forms.cloud.microsoft/r/YNYGd33Cze

お申し込み締切／2026年11月30日（月）

右の二次元コードからアクセスできます

参加条件

①「今できることプロジェクト」の趣旨に賛同し、ワークショップで防災についての理解をより深めたいと考えている方。②当日配布するアンケートに記入いただけること。③当日写真ならびに映像撮影させていただき、新聞および特設HP・facebookに掲載させていただく場合があることをご了承いただける方。

第2回地震災害編は2027年2月9日に実施予定です。詳細が固まりましたら、河北新報朝刊でお知らせします。

私たち賛同企業も、被災地再生と伝承のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトに賛同し、推進していきます。

IHI／アサヒビール 東北支社／花王／キューアンドエー／キリンビール 東北第1支社／ケーズデンキグループ・デンコードー／光輝ビルテクノス／神戸製鋼所東北支店／こくみん共済 coop 宮城推進本部／サントリー 東北営業本部／JFEスチール仙台製造所
JTB 仙台支店／住友不動産 東北事業所／生命保険協会 宮城県協会／仙台環境開発／大和証券 仙台支店／DAIWA／DICグラフィックス／伝承千年の宿 佐勘／東急リバブル／東伸環境／日本製紙／日本製紙クレシア／日本損害保険協会／ネクステージ
野村不動産 仙台支店／東日本油化工業／富士フイルムグラフィックソリューションズ／三井住友海上／三井不動産／三菱地所グループ／三菱重工機械システム／宮城県建設業協会／宮城県自動車整備振興会／宮城交通／みやぎ生協
明治安田生命 仙台支社／リコージャパン 宮城支社／Rethink PROJECT（順不同）

これまでの活動内容や新着情報は「今できることプロジェクト」特設HPをご覧ください。　www.kahoku.co.jp/imadeki/　河北　今できること　検索　facebookページもあります。

今できることプロジェクト企画・制作
河北新報社 営業局

お問い合わせ　今できることプロジェクト事務局（河北新報社営業部）
tel 022-211-1318